

第8回 いがまち地区中学校区再編検討協議会事項書

令和8年4月22日(水)19:00～
@西柘植地区市民センター 大会議室

1. あいさつ

2. 委員自己紹介

3. 報告事項

(1) これまでの協議概要について 【資料1】

(2) 校章デザインについて 【資料 2-1、2-2】

(3) 校歌の作成について 【資料 3-1、3-2】

(4) 通学手段について 【資料 4-1、4-2、4-3】

(5) その他

4. 事務連絡等

■今後の開催日について

- ・第9回検討協議会 月 日 () 時から
- ・第10回検討協議会 月 日 () 時から

いがまち地区中学校区再編検討協議会 委員

		所属	名前	ふりがな	第8回 出欠	備考
1	第1号 委員	柘植小学校長	松本 徹	まつもと とおる	○	
2		西柘植小学校長	隠岐 徹	おき とおる	○	
3		壬生野小学校長	稲森 文一	いなもり ふみかず	○	
4		柘植中学校長	澤 健史	さわ たけふみ	○	
5		霊峰中学校長	若山 公治	わかやま こうじ	○	
6	第2号 委員	柘植小学校児童 保護者	内田 順子	うちだ じゅんこ	○	
7		西柘植小学校児童 保護者	山本 敦	やまもと あつし	○	
8		壬生野小学校児童 保護者	市来 陽介	いちき ようすけ	○	
9		柘植中学校生徒 保護者	松浦 浩正	まつうら ひろまさ	○	
10		霊峰中学校生徒 保護者	服部 将典	はっとり まさのり	○	
11	第3号 委員	柘植地域まちづくり協議会	宮田 隆司	みやた たかし	○	副会長
12		西柘植地域まちづくり協議会	奥澤 重久	おくざわ しげひさ	○	会長
13		壬生野地域まちづくり協議会	内山 保和	うちやま やすかず	○	副会長

#		所属	役職	氏名	備考
1	事務局	伊賀市教育委員会	教育長	澤田 剛	
2			事務局長	福岡 香穂	
3			事務局次長	中 映人	
4			学校教育課長	太田 健二	
5			教育総務課長	藤田 成充	
6			教育総務課	岡田 慎司	
7			教育総務課	日之裏 治子	
8			教育総務課	若林 和樹	

いがまち地区中学校区再編検討協議会における協議検討事項

【第1回】 2025(令和7)年7月7日(月) 19時00分から

議事事項

- (1) いがまち地区中学校区再編に関する経緯の説明
- (2) 協議会会長、副会長の選出
⇒奥澤会長(西柘植まち協)、宮田副会長(柘植まち協)、内山副会長(壬生野まち協)
- (3) 検討事項、スケジュールについて
- (4) 校名の決定方法について
⇒校名案:児童・生徒、保護者、地区等から募集
決 定:児童・生徒、保護者、地区等の投票により校名候補を決定
決定にあたっては事務局が精査をし、協議会で最終決定をする。
- (5) その他
次回以降の開催日程調整

【第2回】 2025(令和7)年7月28日(月) 19時00分から

議事事項

- (1) 霊峰中学校施設見学について
⇒8月3日(日)午前・午後の部、8月7日(木)夕方の部
- (2) 校名の公募について
⇒スケジュール、応募要項の確認
- (3) 通学方法について
⇒現状の通学方法、通学手段の考え方を説明。通学に関する意見募集を行う。
- (4) その他
次々回の開催日程調整

【第3回】 2025(令和7)年9月1日(月) 19時00分から

議事事項

- (1) 霊峰中学校校舎改修工事について
⇒施設見学での意見等を踏まえ、改修予定についての説明。
- (2) 教育内容等ソフト面の調整状況について

⇒両中学校での教育内容等調整状況の経過報告。

(3) その他

次々回の開催日程調整

【第4回】 2025(令和7)年9月30日(火) 19時00分から

議事事項

(1) 校章、校歌の決定方法について

⇒校名決定後、校章・校歌の決定作業に移る。

校章については、いがまち地域(柘植・霊峰中学校卒業生含む)を範囲として公募。

校歌は歌詞・曲ともに専門家に依頼する。

専門家の候補については次回会議で協議。

(2) 通学について

⇒通学に関する意見募集結果等の報告。通学方法の基準、スクールバスの契約・運用について説明。

(3) その他

次々回の開催日程調整

【第5回】 2025(令和7)年10月27日(月) 19時00分から

議事事項

(1) 校名の投票候補について

⇒出席委員による投票にて校名候補の絞り込みを実施し、次の5件に決定。

いがまち・霊山・伊賀東・蕉郷・伊賀蕉峰

11月3日から28日まで、最終候補を選定するための投票を実施。

(2) 校章の公募について

⇒スケジュール、募集要項についての事務局案承認。

(3) 校歌の有識者依頼について

⇒次回協議会にて協議予定。

(4) その他

通学路環境の検証報告(委員有志)

【第6回】 2025（令和7）年12月16日（火）19時00分から

議事事項

（1）校名の投票結果について

⇒得票数が最も多かった「霊山（れいざん）中学校」を協議会候補として決定。

（2）校章の公募について

⇒募集要項、募集案内について確認、修正指示等。

（3）校歌の有識者依頼について

⇒北川美晃（きたがわ よしあき）氏、今野尚美（こんの なおみ）氏の2名に作詞・作曲依頼を行うことに決定

（4）その他

柘植地区（保護者含む）の各区の通学手段要望報告（委員有志）

【第7回】 2026（令和8）年2月9日（月）19時00分から

議事事項

（1）教育内容等ソフト面の調整状況について

⇒両中学校での教育内容等調整状況の経過報告。

（2）通学手段について

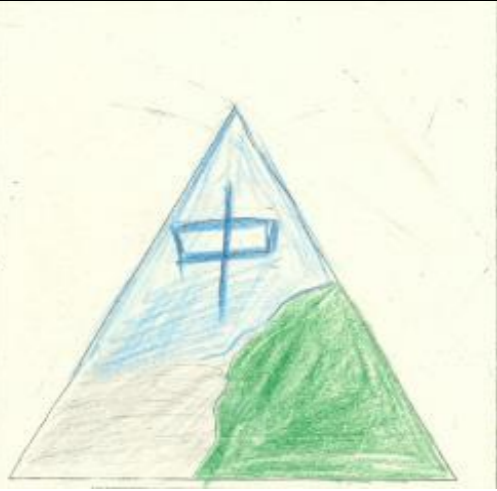
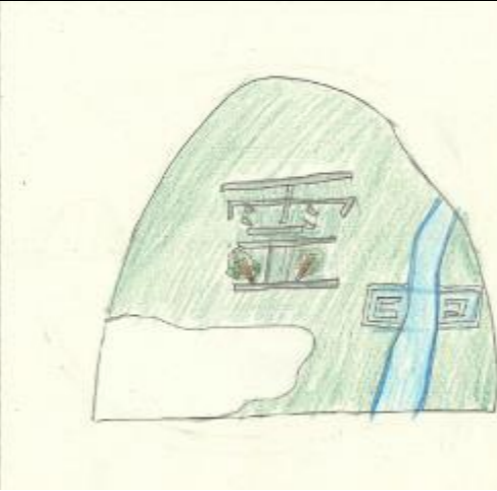

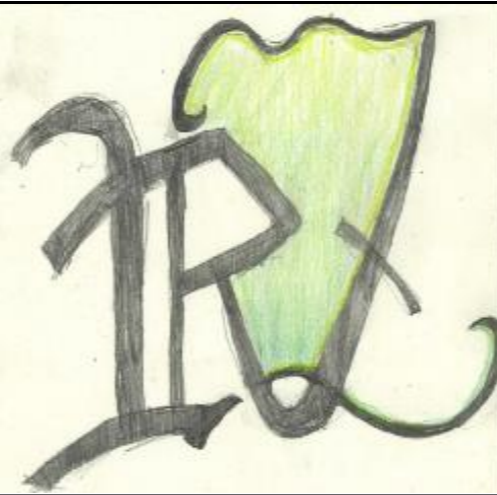


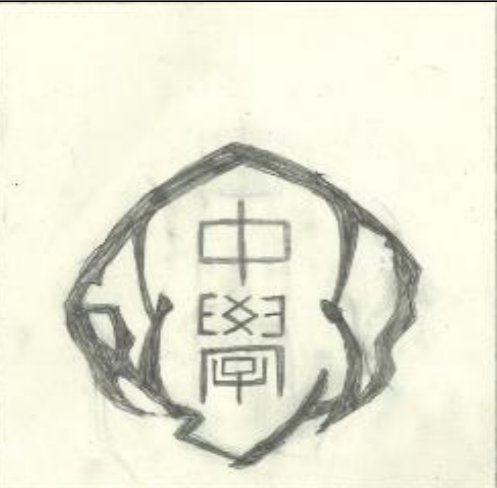

⇒今後の検討プロセスおよび意見集約等に関する依頼。





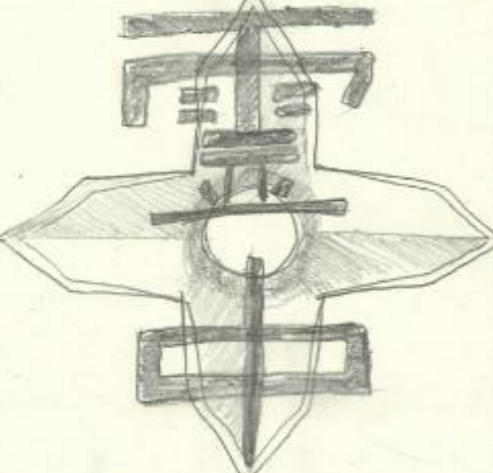



（3）その他

北川氏、今野氏の提案により山本健太（やまもと けんた）氏も校歌制作に参加。

柘植・霊峰の両中学校でのワークショップ開催を検討。

#	デザイン	思いや意味	#	デザイン	思いや意味
1		正三角形のデザインは霊山の山を表していて、二重の線は霊山がいつもこの学校を見守っているという意味です。三角形の上の丸は初日の出を表しています。初日の出の上のデザインは、輝きを表しています。霊山からおがむ初日の出に霊山中学校のたくさんの生徒たちの希望と輝き、願いが込められた校章デザインです。	2		霊山中学校だから、「霊」という漢字を入れ、霊山の上から日の出が出ている様子を表しています。
3		霊山中学校という中学校になるので、霊山をイメージして書きました。	4		そんなイメージだけ
5		山は霊山で川はつげ川です。さくらはなんとなくかきました。校章といえるか分かりません。	6		霊山中という名前になるから、山をモチーフにして、さらに中学生という間はとても輝く星みたいだから星みたいにした。中学生はすぐすぎるとよく聞くから、星をモチーフにしたというのもある。
7		中学校がいっしょになるということで、山のように連なっているところをイメージしていろんな山が一緒になって1つの山になるというのをイメージして描きました。	8		霊山中学校なので、山をイメージしてかきました。




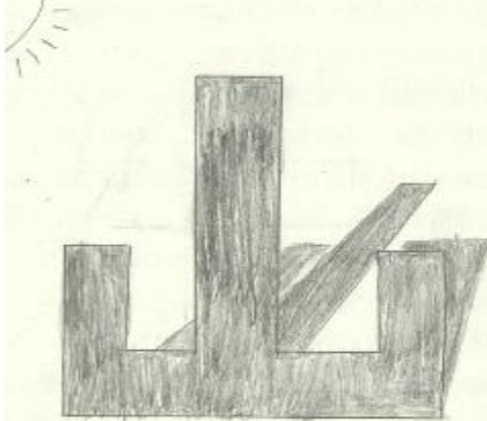
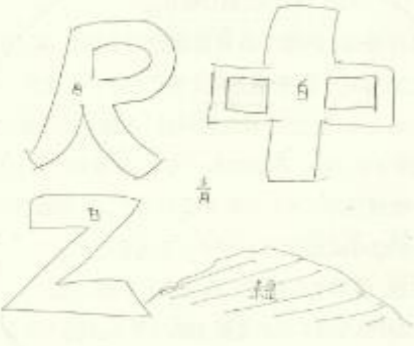



#	デザイン	思いや意味	#	デザイン	思いや意味
9		霊山中学校だから山を書きました。ぼくが霊山にのぼったときはきりがかかっていたのできりを書きました。工夫したところは山の形です。	10		霊山の山をうかべて山の形をかいた。その中に霊山の霊をかいたら霊山になる霊山といったら山だから山っぽい絵をかいた。霊は霊山の名前の霊をとった。中は中学校の中をとってかいた。
11		線や葉で「霊」という漢字を表し、アルファベットの「Z」と「R」を線で表しています。「R」は「霊山中学校」の「霊」の頭文字、「Z」は「山」の頭文字を表していて、下の三角形は霊山を表しています。この校章には霊山のようにのびのびとした学校にしようという思いを込めました。	12		左側は「霊」のR、右側は「山」のZです。この学校名のとおり、シンボルの霊山をモチーフにして色や形を工夫して作りました。このデザインに込めた思いは、「霊山のように高い目標につき進む」です。
13		霊は「霊峰」にも「霊山」にも入っているし、霊峰中から霊山中にかわっても、霊峰を少しでものこしたいから霊を大きくかいた。山は霊山をいしきした。	14		霊山中学校の「霊」という漢字を使いました。そして左側の字は「L」で英語で「Learn」の「L」の頭文字を使いました。「Learn」は「学んで習得する・身につける」という意味があります。なので学んで、学んだことができるようになる、みんなが自身あふれる学校になればなと思い「L」を使いました。そして「L」の最後の部分は「S」にも見えるようにしました。「S」は「Smile」で笑顔という意味です。みんなが笑顔で過ごせるようにと思いました。
15		柘植中学校と霊峰中学校のどちらからも見ることの霊山をイメージとしたとがっている頂上を描きました。下は霊山中学校の文字をとってR,Z,J,H,Sを組み合わせてつくりました。方に柘植中学校の校章にある平等という意味のおしべとめしべを入れました。みんなが平等で霊山のように堂々とした中学校なのでこのようにしました。	16		学校名が霊山だから、山をイメージしてみました。

#	デザイン	思いや意味	#	デザイン	思いや意味
17		「霊山」中学校なのでまわりを山の形にしました。校名に込められた思いに、「高く突き進む」とあったので、突き進むの英語の「push toward」の頭文字pを左側にかき、tを右側にかきました。中学も単調にならないように縦画を太くするところを工夫しました。	18		手裏剣をかいたのは、忍者は剣術だけではなく、状況に応じて道具をつかいこなす知恵をもっていた。予測不能な時代を生きぬく力や柔軟な思考力を持って成長してほしいという意味。まわりの「円」は、生徒、先生方、保護者の方、地域の方が互いに協力し合う「人の和」と「学校同士が一つにまとまる」という意味を持ってかいた。
19		真ん中の丸は太陽です。霊山から見える太陽みたいになればいいなと思いました。あと太陽のように明るい学校になればいいなと思い太陽にしました。	20		うしろに山をかいて霊山をイメージしました。
21		れいほう中学校もつげ中学校も伊賀ということで、伊賀のしょうちょうともいえるにんじゃのしゅりけんをはいけいに昔ながらを大切にしたいフォントにしました。 これからも、昔の人たちがきづいてくれた伊賀町を大切に、新たな歴史をつくっていけるように、という思いをこめました。	22		中学校の名前が霊山中学校になるのはいけいに霊山をかいて、名前に霊というかんじがあるから、霊をいしきたかすみをかきました。
23		このデザインでは自然の中の学校をイメージしました。 「突き進む」をイメージして、山をとがらせて「これ以上に上のびる」という意味があります。	24		霊山のように広い山にのびのびとした生徒がいたり、山頂よりも高い友情や自分の夢を持つ人が多数いることを願ってこのデザインを考えました。

#	デザイン	思いや意味	#	デザイン	思いや意味
25		霊山という文字をいれたくて「山」はやまをひょうげんして「霊」はたましいといういみがあるので山の中に入れました。「山」という漢字のまん中の線は、てっぺんをめざすといういみをこめてまん中の線をてっぺんにしました。	26		名前が霊山中学校で、山という文字が入っているので、山をかきました。
27		霊山中学校って名前なので、中心に霊山をモチーフにした山のイラストを入れ、鳥を入れたのは、飛んでいる感じを描くと未来や希望への飛翔をイメージしました。鶴にした理由は、鶴に健康、平和という意味があるので学校みんなが健康で平和に学校生活を過ごせるようになったらいいなと思ったので入れました。伊賀のモチーフの手裏剣も入れました。	28		真ん中の英語の文字は霊山の頭文字「R」と学校や生徒の「S」を使った。周りの囲ってあるのは、霊山山頂付近に群生地のある県指定天然記念物のアセビです。名前に霊山と入っているので霊山に関わりのあるアセビを使いました。アセビの枝(くき)で「R」と「S」を丸く囲むことで、一体感があるというような意味をこめました。
29		霊山にある霊山寺から桜が見え山頂から桜の並木を見えたりする桜の名所でもあるため桜を入れ、自然を取り入れるために葉で囲み28年度から霊山中学となるので始まる2028の数字を入れて書きました。	30		霊山がいつまでも霊山中学校をやさしく見守ってくれるような中学校になりますようにという思いを込めてこの校章にしました。
31		霊山中学校の霊のRと山のZを使った。また、Rは「歴史」、Zは「全開」という意味がある。また、中学の中は剣を意識し、意味は「勇気と知性」である。鉛筆は、「創造性と学習を支える存在」としてかいた。	32		僕は小学校のとき、霊山に登ったことがあって、頂上から見た景色が緑豊かで山と緑を入れて書きました。

#	デザイン	思いや意味	#	デザイン	思いや意味
33		Rはrespect(尊敬)されるような人になれるように、Zは何事にもzest(熱心)にとりくめるようにという思いを込めました。	34		(コメント記入なし)
35		雨が降っていたけど急に晴れた姿を書きました。 そして、霊山の雪もとけはじめている風景を書きました。	36		霊山の「霊」が一番のトレードマークだと思うので目立つようにしました。「山」は裏に居る事で「霊」をよりひきたてる事が出来ます。 そして、裏で支えてくれているような気がしてきます。りょう方におばけは、霊がいるのかなと初めに思ったので入れてみました。
37		名前が変わってもきらきらと元気な中学校でいてほしい願いをこめてこの校章にしました。 そのうしろに山をかいて霊山のイメージで書きました。	38		新しい学校の名前と霊山を表しました。
39		霊山中学校の霊山の絵を書きました。	40		れいざん中学校が元もとれいほう中学校とつげ中学校ががったいしてできたとあらわしたかった。 そしてれいざん中学校にちなんで山っぽいのを書いた。



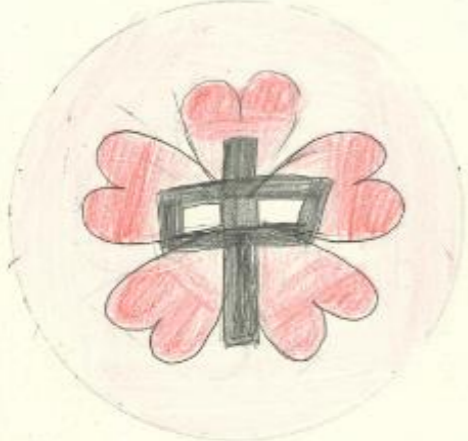





#	デザイン	思いや意味	#	デザイン	思いや意味
41		霊山の最初のRと、霊山の山を入れました。霊山を大きく見せることを意識しながら書きました。	42		霊山中学校なので山のマークがいいなと思いました。しゅりけんの青色は「冷静」「信頼」「知性」「誠実」が象徴されていて、黄色は「幸福」「希望」「元気」「楽しさ」、緑色は「自然」「安らぎ」「生命」を象徴しています。
43		三角形を霊山、波線を柘植川、Rと中で校名を表しています。	44		この校章は、霊山の自然を表す緑の山を背景に、中央のピンクの形で生徒一人一人の個性と成長を表しています。重なり合う形は仲間との協力や支え合いを意味し、中央の「R Z」は霊山中学校の頭文字で誇りと団結を象徴しています。自然の中で学び、未来へ力強く羽ばたく学校を表した校章でかきました。
45		霊山中学校の霊山という文字を入れて、後ろに霊山を入れて霊山をきょうちょうしようと思った。伊賀市にも、りっぱな山があるぞ!!ということをしめそうと思った。	46		霊峰の霊と霊山の山のイラストをあわせた。
47		校名の由来である霊山を正三角形で表し、その中にReizanの頭文字であるRを入れました。二重の三角形は学校が生徒を包み込み、支えながら成長を見守る存在であることを表しています。Rの形は山道を登る姿をイメージし、努力を重ね高みを目指す姿をイメージしました。また、頂点の三つの光は学び・努力・成長をイメージし、明るい未来への希望を表しています。	48		はいけいにかかっているように霊山と木をかいてみました。

#	デザイン	思いや意味	#	デザイン	思いや意味
49		霊と山を合わせた。	50		霊山をメインにかいて葉っぱを周りにかいて山の中に中学の中を入れた。葉っぱには成長という意味があるので、みんなが成長できるような学校になってほしいという思いをこめた。
51		円をつなげることで、人権をそん重する学校、2つの学校が結ばれたことを表しました。校名が霊山中なので、霊山をはい景にのせました。元の霊峰中の呼び方を、新しい学校でも使ってほしいと思いました。	52		霊山ということで山を書きました。
53		霊山のRとZをかいて、霊山を書いてみました。	54		霊山中学校の霊はうれしいのれいだからうれしいを書いて、山で霊山もイメージして書きました。
55		伊賀は霊山が有名だから霊山を強調するようにかきました。山をでかく表現しました。	56		霊山中学校ということで山の葉をイメージしました。新しい学校ということで緑の若々しい葉をイメージしました。

#	デザイン	思いや意味	#	デザイン	思いや意味
57		霊山の日の出をイメージした。	58		霊山から日が昇る姿がきれいなのでその姿をイメージして描きました。
59		まず、「霊山中学校」という校名だということで、山のイラストをいれました。そして、その外側には、1mほどの高さに成長する「ルピナス」という植物のイラストをいれました。なぜ入れたかということ、校名に込められた「霊山のように高く突き進むように」という願いから、高く成長する植物をいれようと思ったからです。(またルピナスには「想像力」「いつも幸せ」といった花言葉があり、中学校にぴったりだとも考えました。)それから真ん中に、中学校の「中」という漢字をいれました。	60		絵は山をイメージして書きました。絵が霊になるように考えました。上は本当は雨ですが、晴れにしてこれからも学校がてらされていたらいいなと思います。
61		霊山はいがまちではどこからでも見える山なので、描こうと思いました。霊山が中学校を見守っているというイメージで描きました。	62		霊山ということで後ろには山をイメージした三角形を書きました。入学や卒業をイメージした桜を親しみやすくなればいいなと思ひ書きました。もう少し山を大きくすればいい感じになると思います。最後に霊峰から受け継いだ霊を大事にしたいと思ひ、印象にも残ると思ひしたので霊を書きました。
63		「霊」と「山」をアルファベットでかいた時の頭文字である「R」「Z」と中学校の「中」を山の形をイメージしてデザインしました。	64		これは霊峰中学校の校章にあったRを象徴しているのを横にむけ霊山に見えるようにしました。Rなので霊山中学校のRを象徴できます。羽根の意味は卒業する前に羽根をつくったのでかきました。

#	デザイン	思いや意味	#	デザイン	思いや意味
65		まんなかにいるRとE(生徒)が山を越えられるようにという思いを込めました。	66		霊山にちなんで
67		霊峰中卒業生の一人として、新しい未来に向けて歩むいがまち三地域の中学生みなさんにエールを送る気持ちで創りました。霊山の稜線のイメージと山の緑、その下に柘植川が流れ(上流・東)から柘植、中央が西柘植、右が壬生野を表しています。囲んでいる三重丸も柘植・西柘植・壬生野の三地域を表しています。	68		伊賀市の花(ささゆり)をモチーフに、花びらを「ペン先」の形に模したデザイン。知性と教養を磨く学校であることを強調。中心から外へ広がる5枚の花びらは、四方八方に広がる可能性を意味している。
69		《伝統の組み紐と未来の輪》 伊賀の伝統工芸である「組み紐」をイメージした円形のデザイン。3本の紐が重なり合い、1つの大きな円(和・環)を作っている。円の中央には、「霊」の文字を力強い楷書体で配置している。	70		「中」の字の上は霊山をイメージしており、どっしりと構える山の姿は、揺るぎない意思とたくましい精神力を象徴している。下部の「柘の葉」は、大地にしっかり根を張る姿をイメージし、基礎的な力を養うこと表している。両サイドの「翼」は、未来へ向かって飛躍するエネルギーを表現し、霊山中学校の躍進の願いも込めた。上部は「一番星」をモチーフとし、生徒一人ひとりが持つ可能性の輝きと、明るい未来を象徴している。
71		中央上部に霊山を構え、麓には柘植川。下部には学校周辺に広がる田園風景から稲穂を加えました。生徒達の夢が実ります様にとの祈りも込めています。 全体のデザインは霊山山麓に自生しているミツマタです。柘植小学校で卒業証書に使われる和紙を生徒自らが作っているエピソードからイメージしました。 中央の模様はペン先にして、学業に励んでほしいとの思いも入れています。 左から時計回りで霊・山・中と読める様にしました。ミツマタの黄色を主体にしています。	72		伊賀市の花のささゆりは雄しべと雌しべを両方持っていて、男女平等をイメージしました。 下の山は霊山で、霊山中学校の生徒には霊山のように高くなって(向上して)いって欲しいという思いを込めました。

#	デザイン	思いや意味	#	デザイン	思いや意味
73		<p>霊山の山をバックに、中学校の中を真ん中に入れました。手のマークは皆が手を取り合い、どんな人(国籍や肌の色、男女それに当てはまらない性別)でも受け入れられる人間性が磨ける様に、また現代のSNS時代に不足している、人同士の対話を大事にしていける様な大人になれるようにという願いを込めました。</p>	74		<p>霊山の霊のRを逆さに、山のZをくっ付けました。後ろには山に因んで三角形を、生徒一人一人が個性を持って輝けるようにという思いで黄色にしました。</p>
75		<p>霊山のRを2つ背合わせに、Zの文字が間にあるイメージで、線を繋げました。バックには太陽をイメージに霊山に太陽が差し込むように、生徒達にも明るい人生を歩んで貰いたい、一人一人が前を向いて進んで欲しいという思いを込めました。</p>	76		<p>霊山のRの形をした三角形をバックに、色味は他の中学校と被らないような色味にしました。前には霊中の文字を入れました。霊山の山がいつまでも子供達を見守っていてくれるだろうという思いで作りました。</p>
77		<p>霊山なので山をかいて1つだとさみしいのでみんながいっしょにがんばることでたくさん書きました。</p>	78		<p>霊山中学校の霊という字と柘植中学校のどちらからも見える霊山を書きました。</p>
79		<p>この校章には米とそのくきでつくった「れいざん」の「レ」と「中」の奥の霊山を入れてあります。米はしっかり実が実ることから、みんなの考えや思いが実って意見をたくさん言えるようになったらいいなと思って入れました。奥の霊山は身近にあって毎日見ている山だからこそ、私たちのこともしっかり見守ってもらい、学びがじゅうじつした場所になればいいなと思い、この校章を考えました。</p>	80		<p>このデザインにこめた思いは霊山中学校だから霊山をかきました。れい山のように、背高くすくすく育っていきたいです。</p>

#	デザイン	思いや意味	#	デザイン	思いや意味
81		(コメント記入なし)	82		このデザインにした理由は校名の込めた思いで「両校を見守ってくれている」と書いてあってそんな霊山から太陽が昇って朝になり統合して出来る霊山中学校に通う生徒たち三年間の一人一人の学校生活をこのさき見守り続けてほしいという思いを込めました。
83		この花はバーベナという花で花言葉には、「一致団結」という意味があります。私は2つの学校が協力し合い助け合いながら生活できたらいいなと思ってこの花を書きました。	84		真ん中には山があり霊山をイメージした山を書きました。外側の線は「霊」という字を書きました。この校章のように霊山に囲まれながら、学校生活を送りたいという願いが込められています。
85		「霊」の上のやつは、霊山をかいて中に霊山中学校の霊の字をかきました。	86		卒業生たちが高みへ登っていくという思いをこめて山を書き、そこに大きく道を書きました。
87		2つの中学校が1つになり共に成長して学んでいけるようにとベースを霊山の山にしました。	88		霊山はみんなを見まもっているから、こんなデザインにした。

#	デザイン	思いや意味	#	デザイン	思いや意味
89		ずっと私たちを見守ってきてくれた霊山が新しい学校になっても生徒を光り輝く未来に導びいてほしいという願いと、霊山やこの地域を大切にしていこうという思いを込めました。	90		新しい中学校で葉っぱを互い違いに書いたのは他の人と同じでなくても自分らしくいられるように。胸を張って好きなものを好きと言えるように。葉脈が細かく枝分かれしているのは、自分の力を生かして全員が自立していけるようにという願いが込められている。
91		霊山とした山を太陽で囲んでいます。あえて色を使わずシンプルでかつ分かりやすくしました。	92		新しい学校にイースターリリーを選んだのは「新たな始まり」「純潔」という花言葉があるから新しい学校もいいスタートをきれるように選びました。
93		この校章は地域にある霊山と自然を表した葉を書きました。霊山が学校を見守ってくれているというところや自然を表した葉は3年間の成長を見守っているという思いを込めました。	94		霊山は私たちの街のどこにいても見ることができる大切な存在です。いつもそこにある霊山のように、この学校もみんなの支えになる場所になってほしいと思い、山を中心に描きました。中央の「中」には、ここから新しい歴史をつくっていく私たちの決意を込めました。
95		霊山に群生地があり、県指定天然記念物となっている「イヌツゲ」をデザインに取り入れました。イヌツゲの花言葉には、「魅惑」と「堅固」があり、イヌツゲの白い花のように、人をひきつける美しさをもつ生徒、寒さや暑さに強く、健康的な生徒を育てほしいという思いが込められています。	96		霊山がこの中学校を守っているところをイメージして書きました。実際、柘植中、霊峰中は霊山に見守られてきたので、新しい霊山中になっても霊山に見守られつづけてほしいという思いを込めました。

#	デザイン	思いや意味	#	デザイン	思いや意味
97		<p>霊山をバックに旧阿山郡の花、現伊賀市の市花でもあるササユリを取り入れ、旧伊賀町の町鳥であった小鳥（メジロ）をアクセントにしました。</p> <p>文字フォントはGoogleフォントを使用し商用利用可能です。各パーツは別々で描いたためタッチが揃っていない点があります。描き直し前提です。</p>	98		<p>地域の象徴である霊山の造形をベースに、仲間の輪のなかで皆が学び合いながら未来へ進む姿を表現しました。円は調和とつながりを、山は学びの場としての基盤と地域性を示し、そこから伸びる一本の線は静寂でありつつ強さのある意志を持った高みを目指す姿を象徴しています。伝統を受け継ぎながら新しい時代へ歩み続ける学校の姿という想いをこのデザインに込めました。</p>
99		<p>「霊山」の文字の造形を基に山の稜線と学びの場が一体となる姿を表現しました。山は大地に根ざす安定と包容力を、校舎は学びと成長そして未来へと続く可能性を象徴しています。伝統を礎にしながら、新たな時代へ歩み続ける姿を表しました。</p>	100		<p>山は地域に見守られた学びの場と揺るがない基盤を表現しています。その上に広がる人々の形は、仲間とのつながりや共感を象徴し、支え合いながら未来へ向かう姿を示しています。自然と人が調和する環境の中で、学生たちが未来へ成長していく学校の姿であってほしいという願いを込めました。</p>
101		<p>三角形の底辺と他2辺の比は7:5:5とし、霊山の麓で生まれ育った芭蕉翁の業績を讃え俳句の文字数を表す。</p> <p>重なる3つの三角形は柘植・西柘植・壬生野に恵みをもたらす霊山のやまなみをイメージし3地域の結びつきを示す。</p> <p>下部の3色曲線（赤・緑・青）は霊山から流れ出て柘植川に注ぐ支流をイメージし、「家庭・学校・地域」の三者の協力、「学力・人権・進路」という教育の主目標、個の確立をめざす「心・技・体」を表す。</p> <p>※ 下部の曲線は、下から赤・緑・青でお願いします。</p>	102		<p>羽ばたく鷹をモチーフにした校章です。霊山の自然豊かな場所で、強く自由にそして高く飛躍してほしいという願いから鷹をモチーフにしました。双翼を連なる山に見立て、柘植と霊峰2つの学校から生まれる中学校であることを象徴しています。尾の部分はペンの形になっており、学問を象徴しています。</p>
103		<p>山の形を輪郭に取り霊山の麓にある中学校であること分かりやすく表現しています。水色は霊山中腹にある白藤の滝をモチーフにしました。風土を象徴するとともに、水が勢いよく流れる様から力強さを表現しています。2つの鋭角の物は万年筆のペンで、学問の象徴とともに、霊峰、柘植の2つの中学から生まれたことを表しています。黄色の物は霊山に群生するイヌツゲの花で、数多く咲くことから学舎で学ぶ生徒たちを表現しています。</p>	104		<p>画面の枠を万年筆のペンをモチーフに表現して学問を象徴しました。その周囲に霊山の自然環境を生き生きと配置しました。上から霊山にも生息する伊賀市の花ササユリ、鳥の翼、水の躍動です。風土を象徴するとともに躍進力や生命力を表しています。</p>

#	デザイン	思いや意味	#	デザイン	思いや意味
105		<p>霊山：深緑の山、柘植中と霊峰中：＝連帯力をためて社会に出でよ：'</p>	106		<p>(霊山から見わたす中学校。) 「霊」「山」「中」を組み合わせてつくりました。</p>
107		<p>霊山を背景に下には両手を広げ、「さあみんな集れー!!!」と言っている様子を天使の羽根で。希望にあふれた子に育ててほしいと願っています。 ※ 中の囲いは白色、枠はグレー、天使の羽根は白色</p>	108		<p>広げた「扇」おおぎの上に中学校の中。 霊山の漢字を重ねました。 ※ 枠は白色、霊山の字はグレー</p>
109		<p>霊峰中学校と柘植中学校は共に霊山を仰ぎ見、麓を流れる柘植川の清流に遊び、癒されるイメージをデザインしました。 霊山には緑あふれるグリーン、柘植川には清涼なブルーで着色し、校旗などにも使用出来るように配色しました。</p>	110		<p>(イメージ) 右の植物：イヌツゲの葉と花、左の植物：アセビの葉と花 土台：霊山山頂</p> <p>霊山は伊賀市を山頂から見守っています。頂上周辺にはアセビとイヌツゲが群生しています。前者の花言葉は清純な心、後者は魅惑。これらの木々に囲まれ育ち、清純な心を持ち魅力ある生徒となり、世界に羽ばたく大人になる思いを込めています。</p>

応募者数全103人

かしょう れいざんちゅうがっこう こうしょう とうひょうようし
 (仮称)霊山中学校 校章デザイン投票用紙

とうひょう こうほさくひん ばんごう きさい りゆう あわ きさい
 投票したい候補作品の番号を記載してください。また、その理由も併せて記載し
 てください(5作品まで選択いただけます)。

番号	選んだ理由

ちくめい 地区名	
くちょうしめい 区長氏名	

5月29日(金)までに、まちづくり協議会へ提出お願いします。

【作詞作曲依頼内容(案)】

1 依頼内容

- (1)校歌の作詞及び作曲
- (2)楽譜(旋律譜及び伴奏譜)の作成
- (3)デモ音源(歌入り及びピアノ伴奏)の作成

2 作詞に関する条件

- (1)収集を行ったキーワードを可能な限り盛り込むこと
- (2)中学生が歌唱することを前提とした内容とすること
- (3)柘植中学校、霊峰中学校のいずれかに偏った表現とならないよう配慮すること
- (4)宗教的、政治的又は思想的内容を含めないこと

3 作曲に関する条件

- (1)全校生徒による斉唱を前提とすること
- (2)中学生が無理なく歌唱できる音域及び難易度とすること
- (3)式典等での使用に支障のない曲調とすること
- (4)演奏時間は概ね4分程度とすること

4 修正対応

- (1)初稿提出後、伊賀市教育委員会の求めに応じて適宜修正を行うものとする
- (2)修正は、教育活動上必要な範囲の調整とする

5 著作権等の取扱い

- (1)著作権は作詞者・作曲者に帰属するものとする
- (2)伊賀市教育委員会は、学校教育活動、式典、広報等の目的に限り、当該校歌を無償かつ無期限に使用できるものとする
- (3)伊賀市教育委員会は、教育目的に限り、編曲その他の改変を行うことができるものとする

6 成果物

歌詞、楽譜、デモ音源データ

7 履行期間

令和8年11月30日まで

つげちゅうがっこう せいと みな
 柘植中学校 生徒の皆さま
 ほごしや みな
 保護者の皆さま

つげちゅうがっこう
 柘植中学校
 いがしきょういくいいんかい
 伊賀市教育委員会

かしょう れいざんちゅうがっこう こうか
 (仮称)霊山中学校 校歌づくりワークショップ開催のご案内

つげちゅうがっこう れいほうちゅうがっこう どうごう
 柘植中学校と霊峰中学校が統合し、2027(令和9)年4月に新たに開校する(仮称)霊山
 ちゅうがっこう しゅつぱつ あたら こうか すす
 中学校の出発にあたり、新しい校歌づくりを進めています。

こうか つげちゅうがっこう れいほうちゅうがっこう そつぎょうせい
 校歌づくりは柘植中学校、霊峰中学校の卒業生であるピアニスト北川 美晃さん、ピアニス
 こんの なおみ しきしや おんがくきょういくしや やまもと けんた
 ト今野 尚美さん、指揮者・音楽教育者 山本 健太さんをお願いしています。

このたび校歌をつくるためのアイデアを出し合うワークショップを3人の方に開催いただけ
 ることになりました。

あたら がっこう おも ことば かたち
 新しい学校への想いを言葉やメロディで形にして、みんなで新しい校歌を創りましょう。
 みな さんか ま
 皆さまのご参加をお待ちしています。

記

- 校歌づくりワークショップ「私たちの校歌をみんなで作ろう」
 ～柘植・霊峰中学校卒業生によるミニコンサートとワークショップ～

にち じ れいわ
 日 時:2026(令和8)年5月1日(金) 13:30～15:00

かい じょう つげちゅうがっこう たいいくかん じゅうしよ いがしつげまち
 会場:柘植中学校 体育館 (住所:伊賀市柘植町1881)

さんかしゃ つげちゅうがっこう ねんせいせいと ほごしや みな つげちいき みな
 参加者:柘植中学校1～3年生生徒、保護者の皆さま、柘植地域の皆さま

さんかひ むりょう
 参加費:無料

しん こう きたがわ よしあき つげちゅうそつ こんの なおみ れいほうちゅうそつ
 進行:ピアニスト 北川 美晃さん(柘植中卒)、ピアニスト 今野 尚美さん(霊峰中卒)、
 しきしや おんがくきょういくしや やまもと けんた つげちゅうそつ
 指揮者・音楽教育者 山本 健太さん(柘植中卒)

ない じょう (1)校歌づくりについて、趣旨説明と歌詞作成への参加よびかけ

(2)卒業生によるピアノ演奏と「音楽を作る」ワークショップ

(3)ことば(ワード)の書き出し

(4)完成までの手順とスケジュールについてのご案内

も もの ひっきようぐ
 持ち物:筆記用具

もうしこみほうほう ほごしや かた か きもうしこみ もう こ
 申込方法:保護者の方は下記申込フォームよりお申し込みください

もうしこみ
 1)申込フォーム:<https://logoform.jp/form/KPw2/kouka.ws>

もうしこみしめき れいわ
 申込締切:2026(令和8)年4月28日(月)17:00

もうしこみ
 申込フォーム



にじげん
 二次元バーコード

ワークショップの内容については
 伊賀市教育委員会事務局教育総務課(0595-22-9644)
 へお問い合わせください。

つげちいき す みな
柘植地域にお住まいの皆さま

つげちゅうがっこう
柘植中学校
いがしきょういくいんかい
伊賀市教育委員会

かしょう れいざんちゅうがっこう こうか
(仮称)霊山中学校 校歌づくりワークショップ開催のご案内

つげちゅうがっこう れいほうちゅうがっこう どうごう れいわ
柘植中学校と霊峰中学校が統合し、2027(令和9)年4月に新たに開校する(仮称)霊山
ちゅうがっこう しゅつぱつ あたら こうか
中学校の出発にあたり、新しい校歌づくりを進めています。

こうか つげちゅうがっこう れいほうちゅうがっこう そつぎょうせい
校歌づくりは柘植中学校、霊峰中学校の卒業生であるピアニスト北川 美晃さん、ピアニス
こんの なおみ しきしや おんがくきょういくしや やまもと けんた ねが
ト今野 尚美さん、指揮者・音楽教育者 山本 健太さんをお願いしています。

このたび校歌をつくるためのアイデアを出し合うワークショップを3人の方に開催いただけ
ることになりました。

あたら がっこう おも ことば かたち
新しい学校への想いを言葉やメロディで形にして、みんなで新しい校歌を創りましょう。

みな さんか ま
皆さまのご参加をお待ちしています。

記

●校歌づくりワークショップ「私たちの校歌をみんなで作ろう」

つげ れいほうちゅうがっこうそつぎょうせい
～柘植・霊峰中学校卒業生によるミニコンサートとワークショップ～

にち じ れいわ
日 時:2026(令和8)年5月1日(金) 13:30～15:00

かい じょう つげちゅうがっこう たいいくかん じゅうしょ いがしつげまち
会 場:柘植中学校 体育館 (住所:伊賀市柘植町1881)

さんかしゃ つげちゅうがっこう ねんせいせいと ほごしや みな
参加者:柘植中学校1～3年生生徒、保護者の皆さま、柘植地域の皆さま

さんかひ むりょう
参加費:無料

しん こう ピアニスト きたがわ よしあき つげちゅうそつ
進 行:ピアニスト 北川 美晃さん(柘植中卒)、ピアニスト こんの なおみ れいほうちゅうそつ
指 揮 者・音 楽 教 育 者 やまもと けんた つげちゅうそつ
山本 健太さん(柘植中卒)

ない よう (1)校歌づくりについて、趣旨説明と歌詞作成への参加よびかけ

(2)卒業生によるピアノ演奏と「音楽を作る」ワークショップ

(3)ことば(ワード)の書き出し

(4)完成までの手順とスケジュールについてのご案内

も もの ひっきようぐ
持ち物:筆記用具

もうしこみほうほう か き
申込方法:下記いずれかでお申し込みください

もうしこみ
1) 申込フォーム:https://logoform.jp/form/KPw2/kouka_ws

でんわ
2) 電話:0595-45-8880(平日9:00～17:00) 柘植地区市民センター

※ 地区市民センターに電話受付をお願いしていますが、可能な限りフォームにてお申し込みください。

もうしこみしめき れいわ
申込締切:2026(令和8)年4月28日(月)17:00

もうしこみ
申込フォーム



にじりばん
二次元バーコード

ワークショップの内容については
伊賀市教育委員会事務局教育総務課(0595-22-9644)
へお問い合わせください。

つげちゅうがっこう せいと ほごしや
柘植中学校の生徒のみなさん、保護者のみなさんについては4月6日に別途学校からご案内します。

れいほうちゅうがっこう せいと みな
 霊峰中学校 生徒の皆さま
 ほごしや みな
 保護者の皆さま

れいほうちゅうがっこう
 霊峰中学校
 いがしきょういくいいんかい
 伊賀市教育委員会

かしょう れいざんちゅうがっこう こうか かいさい あんない
 (仮称)霊山中学校 校歌づくりワークショップ開催のご案内

つげちゅうがっこう れいほうちゅうがっこう どうごう れいわ あら かいこう かしょう れいざん
 柘植中学校と霊峰中学校が統合し、2027(令和9)年4月に新たに開校する(仮称)霊山
 ちゅうがっこう しゅつぱつ あたら こうか すす
 中学校の出発にあたり、新しい校歌づくりを進めています。

こうか つげちゅうがっこう れいほうちゅうがっこう そつぎょうせい きたがわ よしあき
 校歌づくりは柘植中学校、霊峰中学校の卒業生であるピアニスト北川 美晃さん、ピアニス
 こんの なおみ しきしや おんがくきょういくしや やまもと けんた ねが
 ト今野 尚美さん、指揮者・音楽教育者 山本 健太さんをお願いしています。

このたび校歌をつくるためのアイデアを出し合うワークショップを3人の方に開催いただけ
 ることになりました。

あたら がっこう おも ことば かたち あたら こうか つく
 新しい学校への想いを言葉やメロディで形にして、みんなで新しい校歌を創りましょう。
 みな さんか ま
 皆さまのご参加をお待ちしています。

記

●校歌づくりワークショップ

にち じ
 日時:2026(令和8)年5月1日(金) 10:50~12:20

かい じょう れいほうちゅうがっこう たいいくかん じゅうしよ いがししんどう
 会場:霊峰中学校 体育館 (住所:伊賀市新堂160)

さんかしゃ れいほうちゅうがっこう ねんせいせいと ほごしや みな にしつげちいき みぶのちいき みな
 参加者:霊峰中学校1~3年生生徒、保護者の皆さま、西柘植地域・壬生野地域の皆さま

さんかひ わりよう
 参加費:無料

しん こう きたがわ よしあき つげちゅうそつ こんの なおみ れいほうちゅうそつ
 進行:ピアニスト 北川 美晃さん(柘植中卒)、ピアニスト 今野 尚美さん(霊峰中卒)、
 しきしや おんがくきょういくしや やまもと けんた つげちゅうそつ
 指揮者・音楽教育者 山本 健太さん(柘植中卒)

ない よう こうか しゅしせつめい かしきくせい さんか
 内容:(1)校歌づくりについて、趣旨説明と歌詞作成への参加よびかけ

(2)卒業生によるピアノ演奏と「音楽を作る」ワークショップ

(3)ことば(ワード)の書き出し

(4)完成までの手順とスケジュールについてのご案内

も もの ひっきようぐ
 持ち物:筆記用具

もうしこみほうほう ほごしや かた か きもうしこみ もう こ
 申込方法:保護者の方は下記申込フォームよりお申し込みください

もうしこみ
 1)申込フォーム:https://logofom.jp/form/KPw2/kouka_ws

もうしこみしゆき れいわ
 申込締切:2026(令和8)年4月28日(月)17:00

もうしこみ
 申込フォーム



にじげん
 二次元バーコード

ワークショップの内容については
 伊賀市教育委員会事務局教育総務課(0595-22-9644)
 へお問い合わせください。

にしつげちいき す みな
西柘植地域にお住まいの皆さま

れいほうちゅうがっこう
霊峰中学校
いがしきょういくいいんかい
伊賀市教育委員会

かしょう れいざんちゅうがっこう こうか
(仮称)霊山中学校 校歌づくりワークショップ開催のご案内

つげちゅうがっこう れいほうちゅうがっこう どうごう れいわ あら かいこう かしょう れいざん
柘植中学校と霊峰中学校が統合し、2027(令和9)年4月に新たに開校する(仮称)霊山
ちゅうがっこう しゅつぱつ あたら こうか すす
中学校の出発にあたり、新しい校歌づくりを進めています。

こうか つげちゅうがっこう れいほうちゅうがっこう そつぎょうせい きたがわ よしあき
校歌づくりは柘植中学校、霊峰中学校の卒業生であるピアニスト北川美晃さん、ピアニス
このの なおみ しきしゃ おんがくきょういくしゃ やまもと けんた ねが
ト今野尚美さん、指揮者・音楽教育者山本健太さんをお願いしています。

このたび校歌をつくるためのアイデアを出し合うワークショップを3人の方に開催いただけ
ることになりました。

あたら がっこう おも ことば かたち あたら こうか つく
新しい学校への想いを言葉やメロディで形にして、みんなで新しい校歌を創りましょう。
みな さんか ま
皆さまのご参加をお待ちしています。

記

●校歌づくりワークショップ

にち じ
日時:2026(令和8)年5月1日(金) 10:50~12:20

かい じょう れいほうちゅうがっこう たいいくかん じゅうしや いがししんどう
会場:霊峰中学校 体育館(住所:伊賀市新堂160)

さんかしゃ れいほうちゅうがっこう ねんせいせいと ほごしゃ みな にしつげちいき みぶのちいき みな
参加者:霊峰中学校1~3年生生徒、保護者の皆さま、西柘植地域・壬生野地域の皆さま

さんかひ わりよう
参加費:無料

しん こう きたがわ よしあき つげちゅうそつ このの なおみ れいほうちゅうそつ
進行:ピアニスト 北川美晃さん(柘植中卒)、ピアニスト 今野尚美さん(霊峰中卒)、
しきしゃ おんがくきょういくしゃ やまもと けんた つげちゅうそつ
指揮者・音楽教育者 山本健太さん(柘植中卒)

ない よう こうか しゅせつめい かしきくせい さんか
内容:(1)校歌づくりについて、趣旨説明と歌詞作成への参加よびかけ

(2)卒業生によるピアノ演奏と「音楽を作る」ワークショップ

(3)ことば(ワード)の書き出し

(4)完成までの手順とスケジュールについてのご案内

も もの ひつきようぐ
持ち物:筆記用具

もうしこみほうほう か き もう こ
申込方法:下記いずれかでお申し込みください

もうしこみ
1)申込フォーム:https://logoform.jp/form/KPw2/kouka_ws

てんわ へいじつ
2)電話:0595-45-8611(平日9:00~17:00) 西柘植地区市民センター

※ 地区市民センターに電話受付をお願いしていますが、可能な限りフォームにてお申込みください。

もうしこみしめき れいわ
申込締切:2026(令和8)年4月28日(月)17:00

もうしこみ
申込フォーム



にもげん パーコード

ワークショップの内容については
伊賀市教育委員会事務局教育総務課(0595-22-9644)
へお問い合わせください。

れいほうちゅうがっこう せいと ほごしゃ べつとがっこう あんない
霊峰中学校の生徒のみなさん、保護者のみなさんについては4月6日に別途学校からご案内します。

み ぶ の ち い き す み な
壬生野地域にお住まいの皆さま

れいほうちゅうがっこう
霊峰中学校
い が し きょういっくわい
伊賀市教育委員会

かしょう れいざんちゅうがっこう こうか
(仮称)霊山中学校 校歌づくりワークショップ開催のご案内

つ げ ちゅうがっこう れいほうちゅうがっこう どうごう れいわ あら かいこう かしょう れいざん
柘植中学校と霊峰中学校が統合し、2027(令和9)年4月に新たに開校する(仮称)霊山
ちゅうがっこう しゅつぱつ あたら こうか すす
中学校の出発にあたり、新しい校歌づくりを進めています。

こうか つ げ ちゅうがっこう れいほうちゅうがっこう そつぎょうせい きたがわ よしあき
校歌づくりは柘植中学校、霊峰中学校の卒業生であるピアニスト北川 美晃さん、ピアニス
こんの なおみ しきしや おんがくきょういっくわ やまもと けんた ねが
ト今野 尚美さん、指揮者・音楽教育者 山本 健太さんをお願いしています。

このたび校歌をつくるためのアイデアを出し合うワークショップを3人の方に開催いただけ
ることになりました。

あたら がっこう おも ことば かたち あたら こうか つく
新しい学校への想いを言葉やメロディで形にして、みんなで新しい校歌を創りましょう。

みな さんか ま
皆さまのご参加をお待ちしています。

記

●校歌づくりワークショップ

にち じ
日時:2026(令和8)年5月1日(金) 10:50~12:20

かい じょう れいほうちゅうがっこう たいいくかん じゅうしや い が し しんどう
会場:霊峰中学校 体育館 (住所:伊賀市新堂160)

さんかしゃ れいほうちゅうがっこう ねんせいせいと ほごしや みな にしつ げ ち い き み ぶ の ち い き みな
参加者:霊峰中学校1~3年生生徒、保護者の皆さま、西柘植地域・壬生野地域の皆さま

さんかひ わりよう
参加費:無料

しん こう きたがわ よしあき つ げ ちゅうそつ こんの なおみ れいほうちゅうそつ
進行:ピアニスト 北川 美晃さん(柘植中卒)、ピアニスト 今野 尚美さん(霊峰中卒)、
しきしや おんがくきょういっくわ やまもと けんた つ げ ちゅうそつ
指揮者・音楽教育者 山本 健太さん(柘植中卒)

ない よう こうか しゅせつめい か し さくせい さんか
内容:(1)校歌づくりについて、趣旨説明と歌詞作成への参加よびかけ

そつぎょうせい えんそう おんがく つく
(2)卒業生によるピアノ演奏と「音楽を作る」ワークショップ

ことば(ワード)の書き出し

かんせい てじゆん あんない
(4)完成までの手順とスケジュールについてのご案内

も もの ひつきようぐ
持ち物:筆記用具

もうしこみほうほう か き もう こ
申込方法:下記いずれかでお申し込みください

もうしこみ
1)申込フォーム:<https://logoform.jp/form/KPw2/kouka ws>

でんわ
2)電話:0595-45-8900(平日9:00~17:00) 壬生野地区市民センター

ちくしみん てんわうけつけ ねが か の う か ぎ もうしこ
※ 地区市民センターに電話受付をお願いしていますが、可能な限りフォームにてお申込みください。

もうしこみしめき れいわ
申込締切:2026(令和8)年4月28日(月)17:00

もうしこみ
申込フォーム



にじばん
二次元バーコード

ワークショップの内容については
伊賀市教育委員会事務局教育総務課(0595-22-9644)
へお問い合わせください。

れいほうちゅうがっこう せいと ほごしや べつとがっこう あんない
霊峰中学校の生徒のみなさん、保護者のみなさんについては4月6日に別途学校からご案内します。

伊賀市学校みらい構想 基本計画

【概要版】

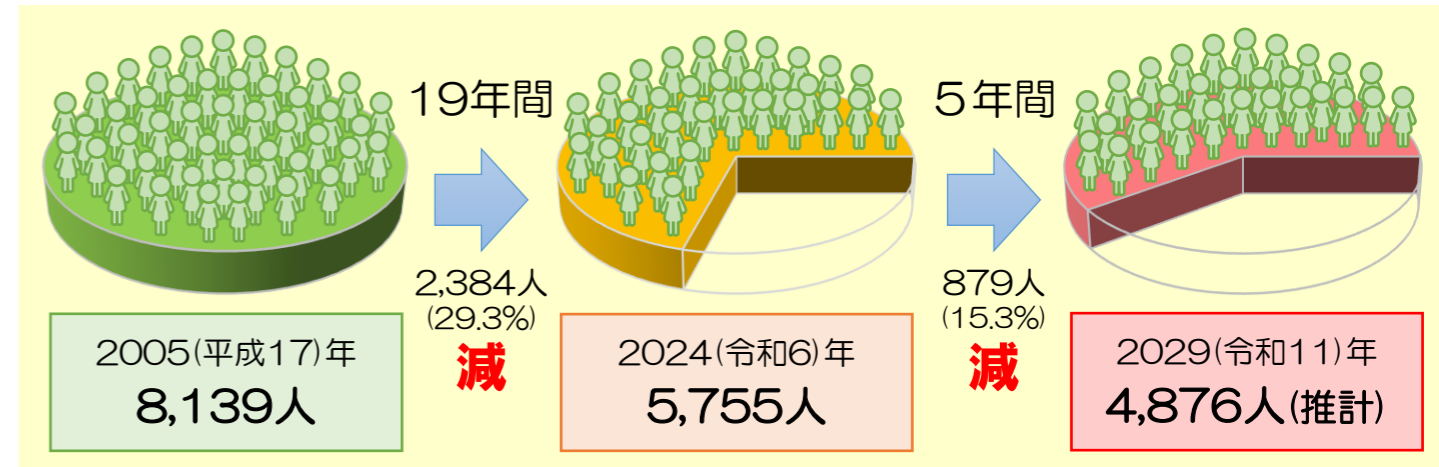
伊賀市学校みらい構想基本計画は、人口減少や児童生徒数の急減、学校の小規模化などの変化に対応し、将来にわたって教育環境の充実を図ることを目的としています。義務教育9年間を見通し、子どもたちの資質や能力を引き出し、個性と多様性を尊重し、未来を創造できる人材の育成を目指します。

1. 伊賀市の学校の現状

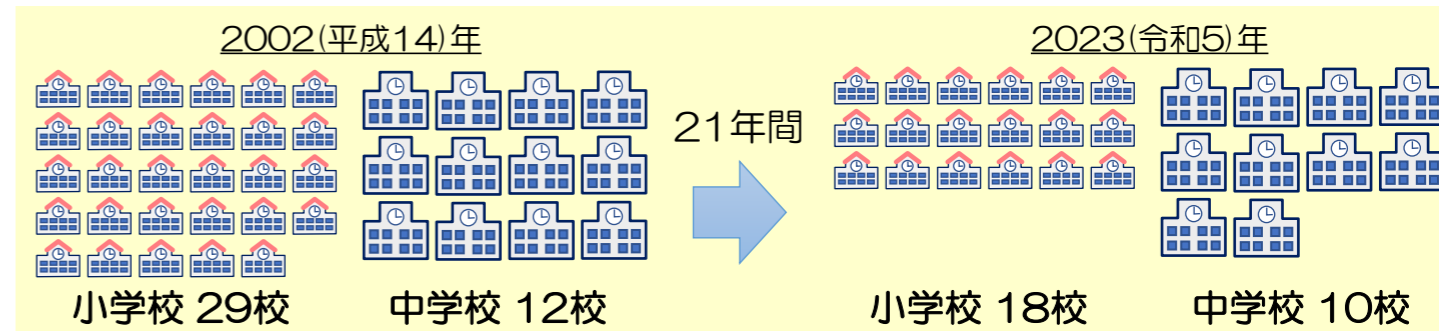
○児童生徒数の推移と校区再編の経緯

2005年から2024年までの19年間で、伊賀市の総人口は約18,300人（17.7%）減少しました。特に0～14歳の年少人口は35.7%減少し、急速な少子化が進んでいます。

2005年に8,139人だった市立小中学校の児童生徒数は、2024年には5,755人に減少しました。さらに2029年には約4,900人になると推計されています。



2004年に策定された上野市校区再編計画を起点として、合併後も伊賀市は校区再編を継続してきました。合併前の2002年に29校あった小学校は2023年に18校に、12校あった中学校は10校に再編されています。



○学校別学年学級数の推計

2024年度、小学校ではすべての学年で複数学級がある学校は4校、一部複数学級が3校、残り11校は全学年で1学級です。中学校では全学年複数学級が6校、一部が1校、残り3校は全学年で1学級です。

2034年度には、小学校で複数学級が全学年ある学校は2校、12校が全学年で1学級、4校が複式学級の見込みです。中学校では、複数学級が5校、全学年で1学級が5校となる見込みです。

○今後の進め方

伊賀市学校みらい構想基本計画は、社会情勢や教育を取り巻く環境が急速に変化することによって多様化する課題や更なる児童生徒数の減少へ対応するために、義務教育9年間を通じて望ましい学校規模や学校配置等について基本的な方針として示すものです。

具体的な学校の再編等を検討、推進するにあたっては、早期に適正化の検討が必要な学校区を選定し、保護者や地域住民に学校教育環境に係る現状や課題を説明し、理解と協力、参画のもと合意形成を前提に進めるとともに、既存の学校施設の活用など、将来世代の負担の軽減も踏まえ取り組むこととします。

なお、適正化に向けて検討が必要な学校に加え、現時点において保護者や地域住民が児童生徒数の減少などにより活力ある学校づくりに課題があると思われる学校区についても、早急に検討を始めることとします。

基本計画策定の経緯

基本計画を策定するにあたり、学識経験者、小学校・中学校PTAの代表者、小学校長・中学校長の代表者、地域の代表者、関係団体の代表者、市民からの公募による者など、合計18名で構成される「伊賀市学校みらい構想検討委員会」を設置しました。

伊賀市長から「学校みらい構想基本計画の策定」「今後の望ましい教育環境」の2つの審議事項について諮問を行い、10年後の子どもたちの状況を思い浮かべながら審議を重ねてまいりました。

審議事項を「伊賀市学校みらい構想基本計画」としてまとめ、その中間案のパブリックコメントを実施し、基本計画最終案として取りまとめ、伊賀市長に答申を行いました。

○検討委員会開催状況		日程	審議内容
2023(令和5)年度	第1回	12月20日	・伊賀市の小中学校の現状 ・伊賀市学校みらい構想基本計画 ・今後の望ましい教育環境 ・検討委員会の進め方（スケジュール）
	第2回	3月27日	・望ましい学校規模・学校配置 ・義務教育9年間を見通した学校の体系 ・少人数を活かした特色ある学校運営 ・地域社会との連携 ・通学方法と費用負担の現状
	第3回	5月14日	・望ましい学校規模・学校配置
	第4回	7月2日	・義務教育9年間を見通した学校の体系 ・少人数を活かした特色ある学校運営 ・地域社会との連携
2024(令和6)年度	第5回	8月28日	・通学方法と費用負担
	第6回	10月8日	・伊賀市学校みらい構想基本計画（中間案） ・今後のスケジュール
	パブリックコメント	12月20日～1月20日	・基本計画中間案に対するパブリックコメント
	第7回	2月18日	・伊賀市学校みらい構想基本計画中間案への意見と対応 ・伊賀市学校みらい構想基本計画最終案 ・答申案
	答申	3月12日	・伊賀市学校みらい構想基本計画最終案を伊賀市長に答申

2. 未来を拓く児童生徒に望ましい小中学校の教育環境

望ましいみらいの学校規模・学校配置は、一定程度の規模における学習集団での学びにより、個別最適な学びと協働的な学習を進め、教育効果を高めることを第一に考える必要があります。

今後の人口予測から児童生徒数の減少による学校の小規模化が進むことが考えられるとともに、地理的な状況や地域の様々な事情の考慮が必要な場合もあります。このような状況と児童生徒と保護者を対象としたアンケートの結果等も踏まえ、標準的で望ましいみらいの学校規模・学校配置として基本的な方針を定めます。

望ましいみらいの学校規模(学級数)

新しい時代を生きぬく力を培うための教育環境を確保するためには、児童生徒が一定規模の集団の中で多くの教職員の指導・支援のもと、多様な価値観や意見に触れ、社会性や協調性を育む経験ができる学校規模が必要と考えられることから次のとおりとします。

小学校 1 学年 2～3 学級 全学年で 12～18 学級
中学校 1 学年 3～6 学級 全学年で 9～18 学級

望ましいみらいの学級規模(学級人数)

現在も1学年1学級の学校では学級人数に大きな幅があり、集団活動の実施やグループ編成での学習に制約が生じたり、クラス内の性別の偏りが生じやすいなどの課題が考えられます。

よりよい教育環境を確保する観点から、三重県の学級編制基準での複数の学級を編制する学級人数を踏まえ、次のとおりとします。

小学校・中学校とも1学級あたり少なくとも18人以上
※三重県学級編制基準による学級編制を基本とする

早期に適正化の検討が必要な学校

児童生徒数が極端に少ない学校では、教育上の課題が大きくなることが予想されるため、望ましい学校規模や学校配置を踏まえ、早期に適正化の検討が必要な学校を次のとおりとします。

また、現時点で望ましい学校規模である学校についても、今後10年の児童生徒数の動向から将来予想される学校規模を考慮して検討することとします。

- ・複式学級が存在する(見込まれる)学校
 - ・全学年が単学級(単学級が見込まれる)、かつ学年平均児童生徒数が望ましい学級規模の基準に満たない(満たないことが見込まれる)学校
- ※中学校は、生徒数に関わらず全学年が単学級(単学級が見込まれる)の学校

適正化の検討を進めるにあたっては、様々な地域事情を踏まえたうえで従来の「学校の統合」、小学校と中学校の単位ではなく義務教育9年間を通じた学習指導や生活指導などの教育活動に継続性・連続性をもたせた「小中一貫型の学校・義務教育学校の設置」、地域とともに少人数を生かした特色ある教育活動を実施する「小規模校の存続を考えた特認校制度」など、多様な教育活動の可能性について検討することが必要です。

望ましいみらいの学校配置(通学距離と通学時間)

学校の望ましい配置の検討にあたっては、通学距離や通学時間の変化に伴う児童生徒や保護者の負担面に加えて、登下校時での安全面などに配慮する必要があります。

広大な面積や人口分布に地域差があることから、通学距離だけでなく通学時間も考慮したうえで、いずれかの条件を満たすよう望ましい通学距離と通学時間を次のとおり定めます。

通学距離 小学校 おおむね3 km以内
中学校 おおむね5 km以内
通学時間 小学校・中学校ともおおむね1時間以内

※通学距離が基準を超える場合は、通学手段の確保により通学時間が基準範囲内となるようにする。

望ましい通学の方法と費用負担や補助

市内小学校・中学校における今後の望ましい通学の方法と費用負担(補助)に関する基本的な考え方を次のように定め、引き続き、児童生徒の安心安全な通学の確保を図ります。

項目	内容	
	小学校	中学校
通学方法の基本	徒歩通学	徒歩・自転車通学
通学距離の基準	居住地区の仮定集合場所から学校までの距離(徒歩・自転車通学が可能な通学路を経由したもの)	
遠距離通学の基準	通学距離3 km以上	通学距離が5 km以上
通学時間の基準	おおむね1時間以内	
スクールバス・公共交通機関の利用基準	遠距離通学の児童・生徒	
通学費補助の対象	対象：遠距離通学にかかる費用 要保護、準要保護世帯の児童・生徒が公共交通機関を利用した場合の費用 対象外：スクールバスを利用して通学している場合 校区外通学 他の法令等で通学に要する費用の援助を受けている場合	
通学費補助の割合	同じ通学方法で差異が無いよう統一した割合(金額)	

義務教育9年間を見通した学校体系

校種間の枠を超え、連携して多様化・複雑化する課題の解決に当たることがより一層求められていることから、これまでの小学校と中学校の単位ではなく、小学校と中学校の接続・連携のあり方を踏まえて義務教育9年間を見通した学校体系について検討が必要となっています。

・小中一貫型の学校・義務教育学校の設置

伊賀市では各中学校区単位の小中学校の教職員が情報交換や研修などを通じて、小学校から中学校への円滑な接続を図ることをめざして小中連携教育に取り組んでいます。

児童生徒のよりよい学びと多様化・複雑化する学校課題に対応するため、義務教育9年間を見通した学校体系のうちの一つとして小中一貫教育への取り組みを検討する必要があります。

・小規模校の存続を考えた特認校制度

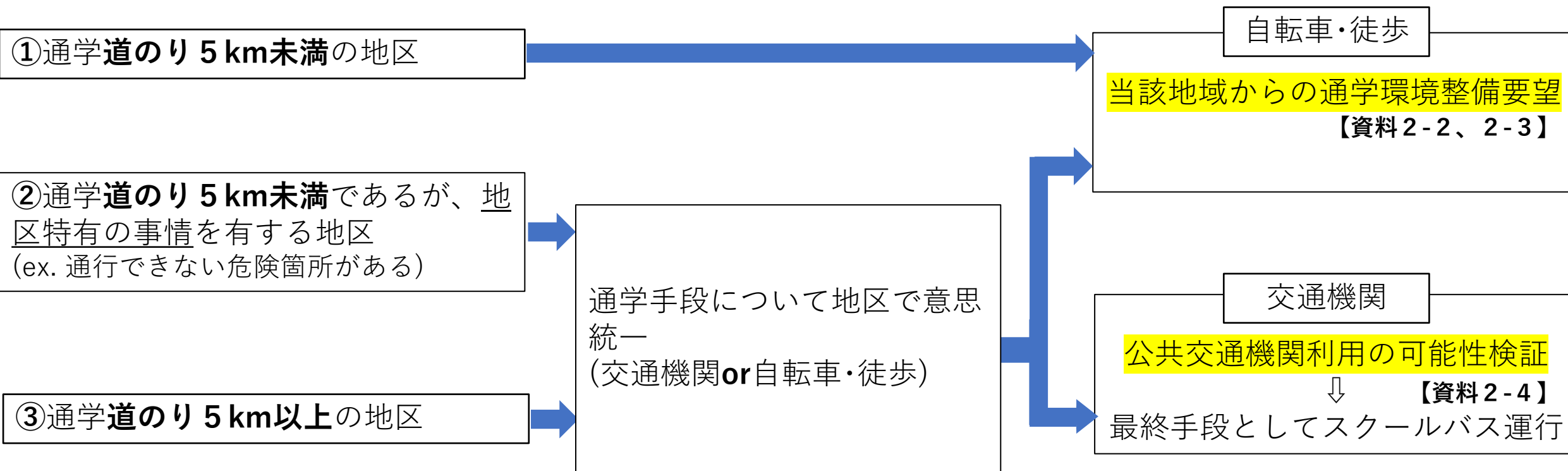
小規模校を存続させる場合、児童生徒の学びのために充実した教育を前提とし、小規模校の良さを活かし課題を緩和する方策の検討が必要です。

また、地域と連携した自然や伝統などの地域環境を活かした少人数での特色ある教育活動などを取り入れた学校運営についても必要に応じて検討することが考えられます。



通学手段決定までのプロセス

通学手段については全市での不均衡が生じないように、下記プロセスにて検討したい。



遠距離通学の基準 通学距離(道のり)が小学校 3 km以上・中学校 5 km以上

通学距離算出方法：居住地区の仮定集合場所(※)から学校までの距離
(徒歩・自転車通学が可能な通学路を経由したもの)

※地区内の公民館・集議所等の公共施設

鉄道（時刻表は通常の通学時間帯のみ抜粋）

【資料4-3】

第7回いがまち中学校区再編検討協議会資料（R8.2.9）

登校時間帯			下校時間帯	
柘植発	新堂着	学校到着見込	新堂発	柘植着
6:29	6:35	6:44	14:31	14:38
7:10	7:18	7:27	15:31	15:38
7:34	7:42	7:51	16:29	16:36
8:35	8:42	8:51	17:04	17:11
9:35	9:41	9:50	18:00	18:07

< 現在の下校時間 >

- ・ 5限授業時
 霊峰14:35、柘植14:50
- ・ 6限授業時
 部活動なし
 霊峰15:40、柘植15:55
 部活動あり
 両校 16:50 (冬季は16:40)

※新堂駅⇔霊山中学校：650m、徒歩約9分

- ・ 登校時（始業 8:30）は到着時間が若干早い。
- ・ ほぼ1時間に1本ペースで運行されており、異例の下校時間でも柔軟に対応可。
- ・ 乗車時間は7～8分。
- ・ 通学定期券代金全額補助。

- ※各地区から柘植駅までの距離・所要時間
- 岡鼻集議所：800m、徒歩約10分
 - 小林集議所：700m、徒歩約9分
 - 柘植青葉台：650m、徒歩約9分
 - 小杉活性化センター：3.7km、自転車約15分
 （屋根付き駐輪場あり）

